（様式１）

Beyond Limits. Unlock Our Potential.
世界に伍するスタートアップ･エコシステム拠点形成計画

コンソーシアム等の名称：福岡スタートアップ･コンソーシアム

１．エコシステム形成の目標･KPI

福岡流エコシステムの確立

- 達成する目標 -

① スタートアップの創出
スタートアップ数　倍増以上

② スタートアップの成長
ユニコーン　5社以上創出

③ グローバルスタートアップ
スタートアップビザ認定数　倍増以上

ユニコーン企業　5 社以上

▲

10億円企業 100 社創出

エコシステムの未来像を実現し
ユニコーン企業を生み出すため
エコシステムの支援をさらに加速
します。

１．エコシステム形成の目標･KPI

ユニコーン創出に向けた福岡流エコシステム強化

これまでの取組に加え，コンソーシアムを通じた連携や，新たな支援施策によりユニコーンを生み出せるエコシステム構築を目指します。

国との連携

- 税制
- 規制緩和
- 財政支援

スタートアップエコシステム拠点都市

福岡市グローバル創業・雇用創出特区

グローバル化 スケールアップ

ネットワーク支援

ハンズオン支援 (Fukuoka Growth Next)

スタートアップカフェ
- ワンストップ開業窓口
- 情報提供，相談，交流機能
- 人材確保支援機能

創業しやすい環境づくり（創業機運の醸成）

成功モデルの創出・定着

事業の創出 成長支援

裾野拡大

福岡スタートアップ･コンソーシアム

拡充 民間支援
- エコシステム強化に向けた取り組み実施
- スタートアップ支援の情報，ノウハウ共有
- コンソーシアムによる支援者の連携強化
- 九州，在京企業等との協業促進

FUKUOKA Smart EAST
次世代のまちづくり

MIT REAP FUKUOKA CITY
マサチューセッツ工科大学(MIT)の知見を活かしたエコシステム強化

新規 IPOを目指す専門人材(CxO人材)の育成

新規 研究開発次世代拠点整備

新規 研究開発型スタートアップ支援

拡充

ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾏｯﾁﾝｸﾞｲﾍﾞﾝﾄ強化

GAPファンド (民間･九大)

新規 大学横断型ｱﾝﾄﾚﾌﾟﾚﾅｰｼｯﾌﾟ教育

１．エコシステム形成の目標・KPI

「人」と「環境」と「都市活力」の調和がとれた

アジアのリーダー都市へ

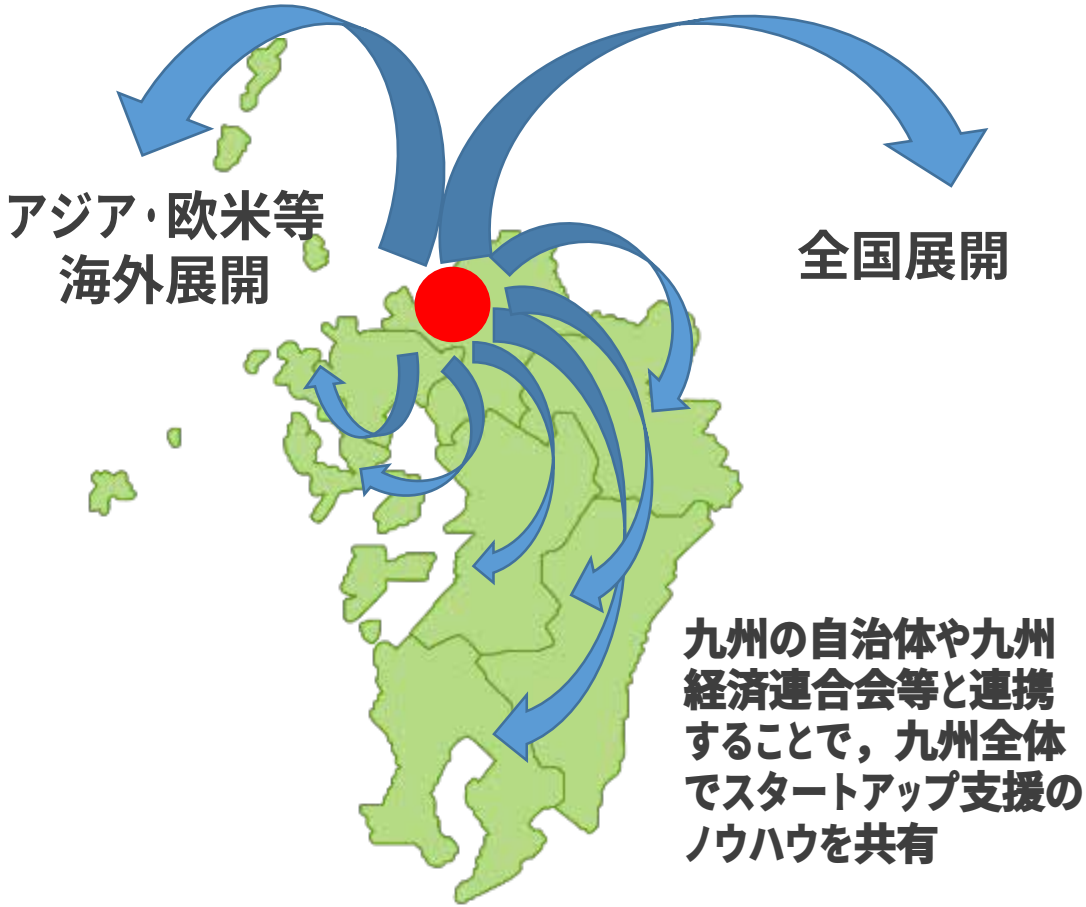
福岡市では，これまで，官民協働による起業支援や「明星和楽」との連携など，スタートアップや支援者のコミュニティとの距離を近くに保ち，きめ細やかなサポートを実施してきました。

そして，世界市場を視野にビジネス展開できるよう，グローバルネットワークを広げるなど，**福岡市にしかない，唯一無二のスタートアップエコシステムを創ってきました**。

また，スタートアップに限ることなく，新しいイノベーション，ビジネスを創出するための実証実験を積極的に受け入れており，「新たなチャレンジは福岡で」と，福岡市が日本の中でかなり個性ある独自の地位を作り上げています。

チャレンジしたい人が福岡に集まり，新しい価値やビジネスを生み出すスタートアップが生まれる。そのイノベーションに触発され，チャレンジしたい人がさらに集まる。この好循環を創出することにより，**リスクをとってチャレンジする人が尊敬されるまちになり，アジアのリーダー都市となる。その実現を目指して福岡市はチャレンジを続けていきます**。

そして，これらの**好循環・ノウハウを九州・日本へ広げ，スタートアップ・エコシステム拠点都市として成長し，成長都市のロールモデルとして日本を牽引**し続けます。



２．エコシステム形成主体の構成組織と役割分担

これまでエコシステム構築に取り組んできたコンソーシアムメンバーで方針・情報等共有し，
ボーディングメンバーを中心に着実に「スタートアップ・エコシステム」のさらなる発展を目指し取り組んでいきます。

コンソーシアムメンバー

- 福岡市
- 九州経済連合会
- FGN運営委員会
- 事務局 福岡地域戦略推進協議会（Fukuoka D.C.）

ボーディングメンバー

- 福岡商工会議所
- 明星和楽
- 九州大学

事業連携/情報共有

＜ 産業界 ＞

スタートアップとの協業推進
九州電力　九州旅客鉄道　九電工　西部ガス
凸版印刷九州事業部　西日本鉄道

融資・投資・成長支援
西日本シティ銀行　日本政策金融公庫　福岡銀行
みずほ銀行

「スタートアップ&グローバル」新ビジネス拠点開発
積水ハウス

支援団体/スタートアップの成長支援
九州産業技術センター　九州ニュービジネス協議会
福岡市創業者応援団　福岡証券取引所

＜ スタートアップコミュニティ ＞

支援拠点/Fukuoka Growth Next
福岡地所　さくらインターネット　GMOペパボ
ブランコ　サイノウ　九州TSUTAYA

ベンチャーキャピタル
ABBA Lab　SGインキュベート
FFGベンチャービジネスパートナーズ　F Ventures
QBキャピタル　QU Ventures　GXパートナーズ
ジャフコ九州支社　ドーガンβ

アクセラレーター
StartupGoGo　デジタルガレージ　トーマツベンチャーサポート

コミュニティ・インフルエンサー
G's ACADEMY FUKUOKA
ヌーラボ　VIVITA　Mistletoe JAPAN

情報発信
PR TIMES

コワーキング・シェアルーム
ibb　WeWork Japan
Garraway F
Zero-Ten Park
天神COLOR　Fabbit

＜ 大学・研究関係＞

大学シーズ・科学技術支援
九州先端科学技術研究所
九州・大学発ベンチャー振興会議

グローバル人材/留学生の起業
日本経済大学　立命館アジア太平洋大学

大学シーズ
福岡大学　福岡工業大学

EDGE-NEXT　九大起業部

＜ オブザーバー ＞

経済産業省 九州経済産業局
日本貿易振興機構(JETRO)
福岡県

２．エコシステム形成主体の構成組織と役割分担

Fukuoka D.C.

「福岡地域戦略推進協議会」に事務局を置き取り組みをさらに加速

福岡地域戦略推進協議会は，九州や在京の企業，大学，自治体216社/団体を会員として構成（顧問として国支局も参画）。9年前からすでに「東アジアのビジネスハブ」を目標に掲げ様々な取り組みを行ってきた。

今回の「スタートアップ・エコシステム拠点都市」の事務局を担うことにより，福岡・九州の成長をさらに加速させる。

福岡地域戦略推進協議会が掲げる将来像

「東アジアのビジネスハブ」

- 福岡都市圏は国際競争力を備えたアジアで最も持続可能な地域を目指す -

産学官民の連携による戦略遂行によって達成すべき目標を、GRP年平均成長率、一人当たりGRP、労働参加率について設定

交流の質をあげ，都市の成長と生活の質の向上の好循環をかっこたるものに

達成目標：2020年→2030年

GRP年平均成長率	一人当たりGRP 2015年 400万円	労働参加率2013年 49.9%
+2.06%	→ 2030年 **515万円** (48,500ドル)	→ 2030年 **56%**

FUKUOKA Smart EAST

Incubation & Innovation Initiative
Fukuoka Mirai Incubation Program

Digital Garage
Open Network Lab Fukuoka

MIT REAP FUKUOKA CITY

実証実験等
福岡市の様々な事業に参画

- 福岡地域戦略推進協議会の特徴 -

① 福岡都市圏の成長戦略の策定から推進まで一貫して実施
（シンク＆ドゥタンク）

②産学官民一体となった組織
（公共的かつ機動的な体制・公共政策と連動）

③福岡都市圏を単位として考える
（福岡都市圏を核に九州，アジアとの連携を図る）

④事業性のあるプロジェクトを実施
（事業を生み出すプラットフォーム）

３．エコシステムの顔となるリーダー

地方からスタートアップ革命起こす！

福岡市長　髙島 宗一郎

1974年生まれ。アナウンサーから2010年に史上最年少の36歳で福岡市長に就任。国家戦略特区を獲得し数々の規制緩和や制度改革を実現。日本のスタートアップシーンを強力にけん引し，テクノロジーで新しい価値を生み出す未来志向のまちづくりを行う。2017年，日本の市長で初めて世界経済フォーラム（ダボス会議）に招待される。

＜ これまでの主なスタートアップ支援の成果 ＞

官民共働型 スタートアップ支援施設

・投資額　44社111億円以上
・延べ入居者数360社以上
・雇用増加数　180人以上

スタートアップカフェによる裾野の拡大

・相談件数、9,500件以上
・創業社数、220社以上
・開業ワンストップセンター開設

海外からのスタートアップ支援

・Global Startup Center設置
・スタートアップビザの認定数
延べ66件
・11ヵ国・地域、15拠点とMoU

福岡市を舞台とした実証実験

・実証実験フルサポート、のべ58件
・主な内容
メルチャリ、アイカサ、キャッシュレス
AIの活用、電動キックボード等

スタートアップイベント

・Fukuoka Startup Selection開催
・WARAKU SUMMIT開催
・B Dash Camp誘致
・Industry Co-Creation開催

３．エコシステムの顔となるリーダー

髙島市長によるスタートアップ支援施策の歴史

2011年

シアトル視察

「明星和楽」始動

MYOJOWARAKU Technology & Creative Festival

その後明星和楽は毎年開催中

2012年

スタートアップ都市ふくおか宣言

2013年

スタートアップ都市推進協議会設立

2014年

国家戦略特区指定

STARTUP FUKUOKA CITY

スタートアップカフェ開業

2016年

福岡発スタートアップ続々とIPO達成！

VEGA corporation

HOPE.INC

スタートアップのグローバル展開支援

2017年

官民共働型スタートアップ支援施設　開業

2019年

Fukuoka Growth Next リニューアルオープン

Engineer Cafe オープン

写真提供：福岡市

２．スタートアップ支援

（１）総予算額

9,388,390千円（合計）　**7,111,537千円**（福岡市）　**2,276,853千円**（福岡県）

（２）主な支援事業

福岡市の主な事業

- ○ 国際ビジネスマッチングイベント事業
- ○ スタートアップ支援施設事業
- ○ 海外拠点との連携強化・国内外イベントへの参加
- ○ グローバルスタートアップセンター（グローバルスタートアップコーディネーター）事業
- ○ 外国人の創業支援
- ○ スタートアップカフェの運営
- ○ 国家戦略特区推進に関する総合経費
- ○ 研究開発型スタートアップ企業の支援

福岡県の主な事業

- ○ 先端技術系スタートアップの創業支援
- ○ フクオカベンチャーマーケット事業
- ○ 九州・山口ベンチャーマーケット事業
- ○ 福岡県ビジネスプロデューサーによる支援
- ○ 創業にかかる資金調達の支援
- ○ インキュベート施設による支援
- ○ IPOチャレンジゼミナール事業

３．スタートアップ支援組織

(1)担当部局名　担当者数

総務企画局 企画調整部　理事	１名
（グローバルスタートアップ担当）企画課	９名
	（内、嘱託２名）
保健福祉局 総務企画部　課長	1名
健康先進都市推進担当	3名
経済観光文化局 局長	１名
同　創業･立地推進部 部長	１名
同　創業支援課	９名
同　企業誘致課	９名
	（内、嘱託２名）
同　新産業振興課	８名
同　産学連携課	６名
住宅都市局 九大まちづくり推進部 部長	１名
イノベーション推進･Smart EAST	10名
	計59名

(2)支援の顔となる職員：

★**総務企画局 企画調整部 企画課長　的野浩一**
総務企画局 企画調整部 企画係長　二村隼人
保健福祉局 総務企画部 主査　中園久夫
★**経済観光文化局 創業･立地推進部長　富田雅志**
経済観光文化局 創業･立地推進部 創業支援課
清見康平/松尾雄介
経済観光文化局 創業･立地推進部 新産業振興課
新産業創造係長　上田浩平
住宅都市局 九大まちづくり推進部　中武聖

４．民間組織との連携

官民共働で，スタートアップ企業の成長を強力にバックアップ

fgn.
FUKUOKA GROWTH NEXT

福岡市スタートアップ支援施設運営委員会

福岡市	福岡地所㈱	さくらインターネット㈱	GMOペパボ㈱

運営委員会事務局

アクセラレーター	事務局長	インキュベーションマネージャー
小笠原　治 ABBALab㈱	内田　雄一郎 福岡地所㈱	村上　純志 ㈱サイノウ

事務局

事務局スタッフ：池田　貴信、中村　るみ　仕田原　和也
楠本　虎丸、川野　洋平、大村　裕一
山本　和明、川口　武将、　油井　佑樹
進　亜希代、河野　歩

FGN ABBALabファンド

特区連携機能
スタートアップカフェ
福岡市雇用労働相談センター（FECC）
福岡地域戦略推進協議会（FDC）

スポンサー企業
在京・地場企業

VC・メンター

国内外インキュベーション施設

アクセラレーションプログラム
国内外のアクセラレーター

インキュベーションプログラム
JUMPSTART PROGRAM

企業マッチング
Growth Pitch

ヒューマンリソースの育成
エンジニア
デザイナー
マーケティング、PR

スタートアップを支援するスポンサー企業

SGインキュベート株式会社　西日本FH　freee　前田建設　九州電力　九州リースサービス　CITY ASCOM　TOPPAN
松尾建設　Nishitetsu　九電工　FFG ふくおかフィナンシャルグループ　WingArc1st　DNP
RICOH　Digital Garage　SEIKO ELECTRIC　JR九州　ふくや　FUJITSU　新日本製薬
GMO　mercari　Fabbit　LINE　wework

４．民間組織との連携

FGNにおける成長支援プログラム

fgn.
FUKUOKA GROWTH NEXT

成長支援
- アントレプレナー
- デザイナー
- エンジニア
- マーケター、PR

協業
- アクセラレーションプログラム
- ピッチ

資本の呼び込み
- ファンド設立
- VCとの連携

Fukuoka Growth Next

行政によるバックアップ — **官民連携**

場づくり — **コミュニティ形成**

地元、在京企業 — **スポンサーサポート**

スタートアップ支援においては，経営･財務･販路拡大･人事等の起業家にとって必要な知識習得におけるプログラムや新しいテクノロジーやビジネスに関するセミナーなど，成長を支援するプログラムの実施，地元･在京の既存企業とのビジネスマッチング，グローバルアクセラレーターとの連携，独自のファンド創設を行うとともに，スタートアップが事業に専念できるようコワーキングスペースやインキュベートルームはもちろんのこと，カフェやバーの設置により，スタートアップのコミュニティ形成にも力を入れている。

事業実施においても，**民間事業者のノウハウを活用しながら実証実験など行政における支援にも力を入れ，官民共働によりFukuoka Growth Nextを運営**している。

５．グローバル化への対応

福岡と海外双方のスタートアップの進出を支援

・海外のスタートアップ支援拠点とMoUを締結

→イスラエル等**11**ヵ国・地域・**15**拠点と連携

・グローバルスタートアップセンター

→イン・アウト**双方の進出やマッチング**をハンズオン支援

・海外のスタートアップイベントへの参加

→市内スタートアップとともに**SLUSH**等に参加！

・グローバルマッチングイベントの開催(拡充)

→海外MoUを活かして**国内外から**スタートアップが集結！

→海外MoUを活かして**国内外からスタートアップが集結**

・福岡×海外スタートアップのビジネスマッチングの場を創出するグローバルイベントを開催。

・令和2年度は，**新たなビジネスが生まれる「日本No.1の場」**を目指して，福岡だけでなく，日本・世界のスタートアップ・VCや，オープンイノベーションに関心の高い企業を呼び込む等，規模を拡大して実施。スタートアップの成長支援・海外展開をさらに加速する。

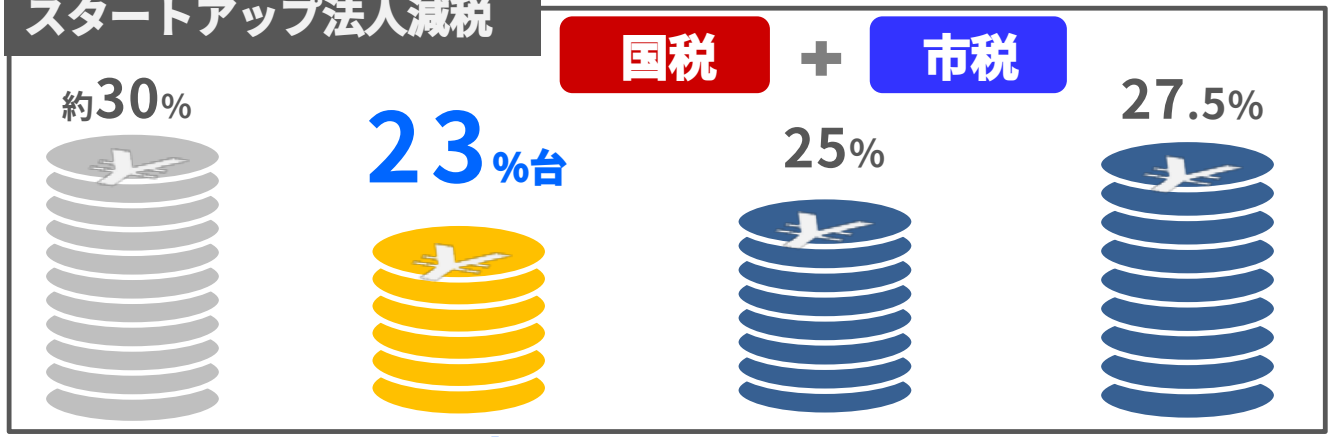
５．グローバル化への対応　（スタートアップVISA制度など）

「福岡市スタートアップパッケージ」で海外スタートアップを支援

スタートアップビザ・賃料補助

スタートアップカフェ

スタートアップ法人減税



福岡市では，国家戦略特区の取組みにより，国内外からスタートアップ人材や企業を呼び込むうえで高いハードルであった在留資格･法人税制等の全てについて，規制改革などが実現しました。

「スタートアップビザ」「スタートアップ賃料補助」「スタートアップ法人減税」「スタートアップカフェでの支援」「Fukuoka Growth Nextでの成長支援」を「福岡市スタートアップ･パッケージ」として発信することにより，福岡の活力をさらに高めるスタートアップ都市づくりを着実に進め，日本における先駆的なロールモデルを構築していきます。

また，海外で福岡市のピッチコンテストを実施し，その中で「福岡市アワード」としてスタートアップパッケージを海外のスタートアップへ提供することにより，戦略的にスタートアップの誘致を進めています。

スタートアップビザ　：在留資格申請時の要件の規制緩和
スタートアップ賃料補助　：外国人創業者への住居や事務所の賃料の一部補助
スタートアップカフェ　：起業の準備や相談ができる施設
スタートアップ法人減税　：特区を活用した国税と地方税の軽減措置

６．他の自治体等との連携　（都道府県と市区町村の連携、連携都市など）

様々な形での県･市区町村との連携推進

START UP 都市推進協議会

JAPAN STARTUP SELECTION

＜スタートアップ都市推進協議会＞

日本再興への期待が高まりつつある今、スタートアップ都市づくりに先進的に取り組む自治体が、地域の個性を生かしたロールモデルとなり、経済関係団体とも連携し、日本全体をチャレンジが評価される国に変えていくことをめざすもの。

加盟自治体：福岡市(会長），三重県、広島県、青森市、つくば市、千葉市、浜松市、日南市

■主な取り組み
- ○各会員間の情報共有
- ○国への提言活動
- ○小中高校生･大学生向けチャレンジマインド醸成教育
- ○東京での在京企業とのビジネスマッチング事業

STARTUP CAFE

＜スタートアップカフェ間の連携＞

創業に関する情報発信や創業者と関係者をつなぐ等，スタートアップカフェの運営に関しノウハウの共有･連携（岡山市，沖縄市）

Fukuoka D.C.

＜福岡地域戦略推進協議会＞

本コンソーシアムの事務局を当協議会に置くことで，会員の民間企業･大学･自治体とで情報を共有し，コンソーシアムメンバー以外での連携･ノウハウの共有をおこなう。

会員自治体：飯塚市，小城市，久留米市，鳥栖市，広川町，福岡県，福岡市，福津市，宗像市

- 3つの事業方針 -
①事業化支援
②広域展開
③地域のグローバル化

分科会
コンソーシアム
プロジェクト

観光部会	食部会
都市再生部会	スマートシティ部会

各部会で事業性のあるプロジェクト

- ･福岡版スマートシティ構想の具体的構想に向けて
- ･事業組成に向けた取り組み（社会実験等）の強化
- ･福岡版スマートシティ構想の情報発信　等々

６．他の自治体等との連携　（都道府県と市区町村の連携、連携都市など）

九州全体でスタートアップ支援のノウハウを共有

WITH THE KYUSHU

「WITH THE KYUSHU」とは、九州各地の自治体と連携し、九州の発展につなげることを目指したさまざまな取組み。
この取組みを活用し，スタートアップ支援のノウハウを共有します。

福岡県の取組

FVB（福岡県ベンチャービジネス支援協議会）を核としたベンチャー支援

- フクオカベンチャーマーケット（FVM）
- 九州･山口ベンチャーマーケット（KVM）

先端技術系スタートアップ支援施設

- 福岡システムＬＳＩ総合開発センター
- 福岡県Ruby･コンテンツ産業振興センター
- i³-opera（有機光エレクトロニクス実用化開発センター）

その他九州の自治体の取組

佐賀県
Startup Gateway SAGA

大分県
湯けむりアクセラレーター

北九州市
IoT Maker's acceleration program in 北九州

日南市
油津赤レンガ館

宮崎市
みやざきStartup Hub

鹿児島市
mark MEIZAN

沖縄市
Startup Lab Lagoon

等検討

６．他の自治体等との連携　（都道府県と市区町村の連携、連携都市など）

様々なレイヤーによる自治体間の連携・ノウハウ共有

福岡市・北九州市国家戦略特区

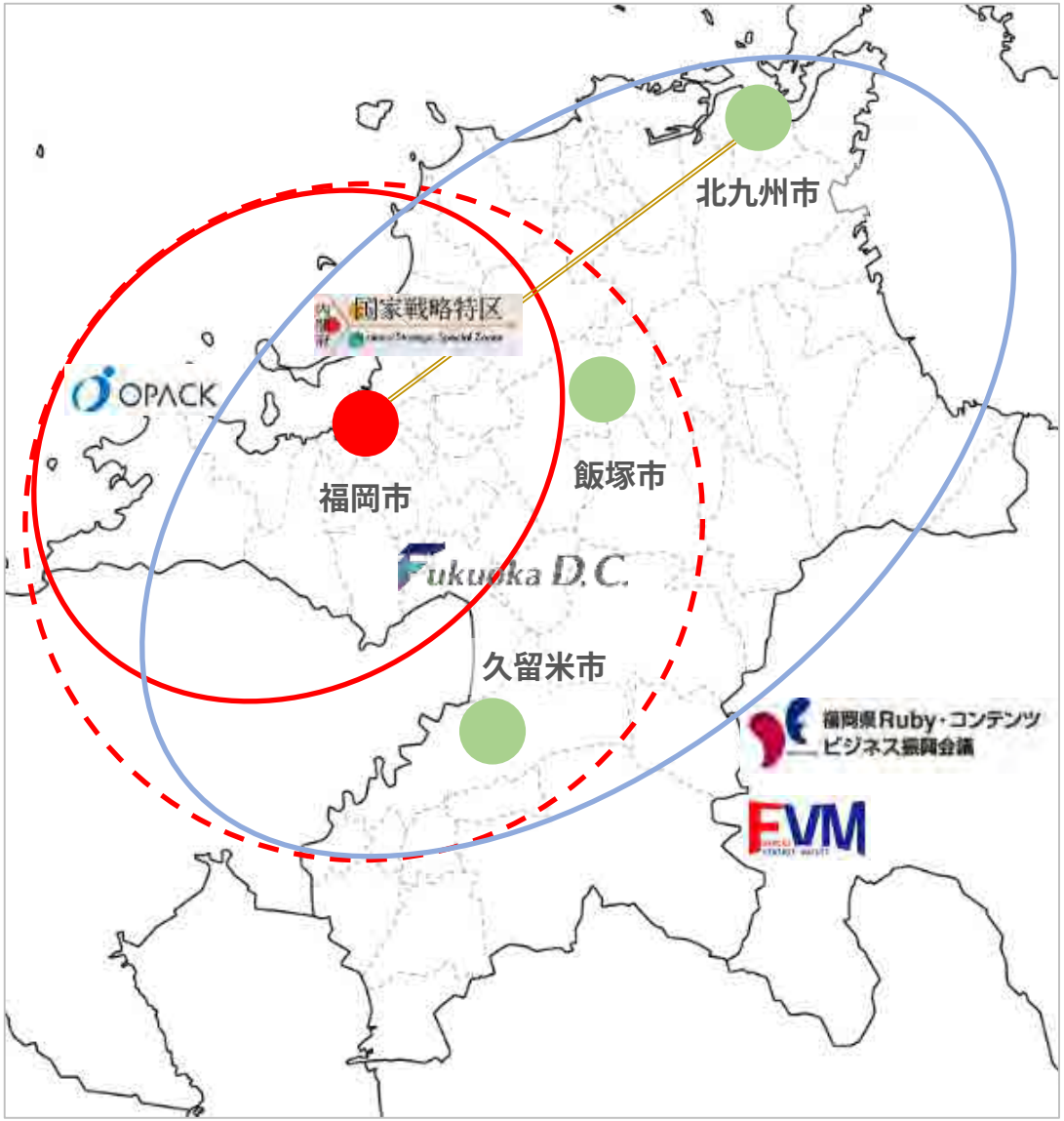
規制緩和に向け連携して取り組んでいる。特区事業の福岡市雇用労働相談センターを北九州市とオンラインでつなぐ等の連携も推進。
★福岡市，北九州市

福岡地域戦略推進協議会

「東アジアのビジネスハブ」を目標に，九州や在京の企業，大学，自治体200社/団体を会員とともに，実証実験やオープンイノベーション，企業とスタートアップの協業創出等様々な取り組みを実施。
★飯塚市，久留米市，福岡市，福岡県等

福岡県ﾍﾞﾝﾁｬｰﾋﾞｼﾞﾈｽ支援協議会（FVB）

スタートアップ支援の官民連携プラットフォームとして福岡県が設置。スタートアップ企業とビジネスパートナーとのマッチングの場「フクオカベンチャーマーケット」を開催、ビジネスプランの策定から資金調達、販路拡大まで一貫して支援を実施。



福岡県Ruby・コンテンツビジネス振興会議

IT系スタートアップに親和性の高い、我が国発のプログラミング言語Rubyを中心に、IT系スタートアップの育成を支援。製品開発支援、販路開拓支援、人材育成、インキュベーションルームの提供などを実施。
★飯塚市，北九州市，久留米市
福岡市，福岡県

九州大学学術研究都市推進機構

産学連携プロジェクトの推進や企業・研究機関等の進出支援を行い「知の拠点」の形成を図り、地元産学官で事業を展開する。
★糸島市，福岡市，福岡県

実務者会議（提案予定）

積極的に創業支援に取り組む福岡県下の市町村担当者で意見交換会を実施。スタートアップ・創業支援の情報を共有し，スタートアップ支援体制の底上げを行う。
★飯塚市，糸島市，久留米市，北九州市，福岡市，宗像市，福岡県等

７．国の施策との連携　（特区、地方創生交付金事業など）

国家戦略特区等 国の施策と連携し，さらに事業を推進

- 雇用労働相談センターの設置
- 創業人材の受入れに係る出入国管理及び難民認定法の特例（スタートアップビザ）
- 創業者の人材確保の支援に係る国家公務員退職手当法の特例
- 人材流動化支援施設の設置（人材マッチングセンター）
- 特定実験試験局制度に関する特例
- 航空法の高さ制限のエリア単位での特例承認
- 特定事業実施法人の所得に係る課税の特例
- 近未来技術実証ワンストップセンターの設置
- 福岡市開業ワンストップセンターの設置　等々・・・**18の規制改革を実現**

2024天神未来創造 天神ビッグバン

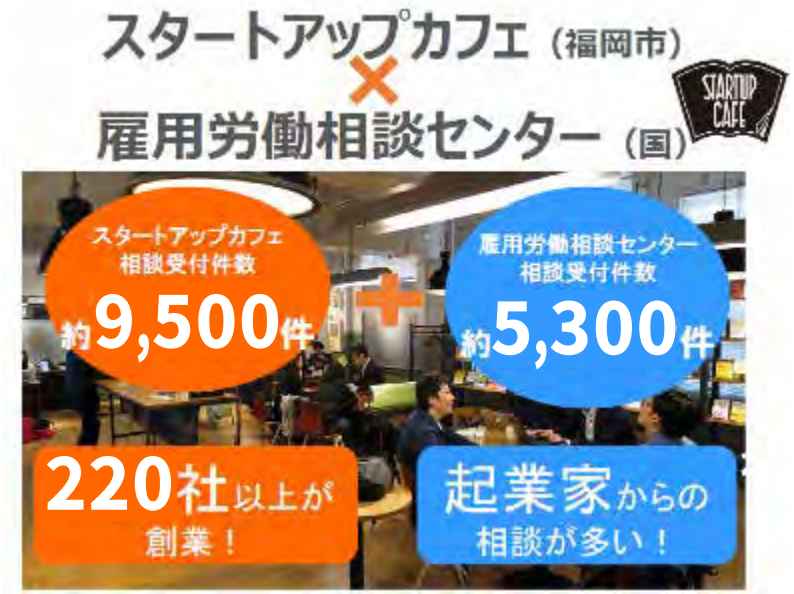
博多コネクティッド

- 天神ビッグバン/博多コネクティッド -

国家戦略特区による「航空法高さ制限の特例承認」や福岡市独自の容積率緩和制度などを組み合わせ、ソフト・ハード両面にわたる施策を一体的に推進することで，民間活力を最大限に引き出しながら耐震性の高い先進的なビルへの建て替えを促進。

７．国の施策との連携　（特区、地方創生交付金事業など）

「福岡市グローバル創業・雇用創出特区」に指定（国と連携）



福岡市雇用労働相談センター（内閣府・厚生労働省事業）

FECC　センター長 藤沢 久美 氏

略歴
平成８年 日本発の投資信託評価会社、
アイフィスを起業。代表取締役を務める。
平成12 年 シンクタンク・ソフィアバンクの設立に参画、
平成25 年から代表。
世界経済フォーラム（ダボス会議）
ヤング・グローバルリーダー2007 に選出

＜ 地方創生推進交付金を活用してエンジニアフレンドリーシティ福岡を推進 ＞

◆エンジニアの交流拠点「エンジニアカフェ」

2019年8月のオープンから約５月間で

セミナー・交流会等の
開催件数
120 回以上

来場者
12,000名以上

＜施設概要＞・コワーキングスペース　・イベントスペース　・作業に集中しやすい間仕切り付きのスペース
・デジタルものづくり体験や機器の試作等ができるスペース　など

◆アワード

エンジニアの技術向上に取り組む
「エンジニアコミュニティ」と「企業」を表彰。

８．スタートアップ調達　（トライアル発注制度など）

スタートアップの新しい価値・新しいサービスを実装する次世代のまちを創出

FUKUOKA Smart EAST

少子高齢化など，まちづくりの様々な課題を解決しながら，持続的に発展していくため，**最先端の技術革新の導入などによる，快適で質の高いライフスタイルと都市空間を創出し，未来に誇れるモデル都市「Fukuoka Smart East」を創造**していく。

東京に当てはめると…

- 50haの広大な敷地
- 都心に近い（博多駅まで５分）
- 鉄道３路線に囲まれる

- 少子高齢化など社会課題を解決
- 最先端技術(AI・IoT等)を導入

次世代のまちづくり

FUKUOKA Smart EAST

国内外の民間企業や研究機関も，既に実証実験に参画！

８．スタートアップ調達　　（トライアル発注制度など）

実証実験・公共調達等を通じてスタートアップ調達を促進

mirai@ city.fukuoka

民間事業者と福岡市をつなぐワンストップ窓口「mirai@」（ミライアット）。
公民連携のハブとして，提案受付，サポート，情報提供・情報発信等を一元的に行い関係部局等と連携し，民間提案の実現をサポート。
「公民共働事業」と「実証実験フルサポート事業」の２つのプロジェクトで，福岡市の未来をつくるチャレンジを全国から募集。

※1 Fukuoka AI Community：市内企業等のAIを活用した労働生産性向上等を目的に活動する企業同盟
※2 FDC（福岡地域戦略推進協議会）：福岡地域の成長戦略を推進する産学官民一体のシンク&ドゥタンク組織
※3 FGN（FUKUOKA Growth Next）：福岡市が中心となる官民共同型スタートアップ支援機関
※4 ISIT（公益財団法人 九州先端科学技術研究所）：IT，ナノテクノロジー等の産学連携等を通じた産業振興・雇用創出を目的とする研究機関

福岡市 トライアル優良商品認定事業

福岡市トライアル優良商品認定事業は，優れた新商品等を生産・提供する地場中小企業を福岡市が認定し，積極的に販路開拓を支援する事業。福岡市でもスタートアップの新サービスの公共調達実績あり。

スタートアップ企業も積極的に認定!!　R元　オングリット株式会社　H30 株式会社ホープイングリッシュ
H29 株式会社ヌーラボ，株式会社diffeasy　H28 株式会社Qurate

内閣府が実施する課題解決型公共調達「オープンイノベーションチャレンジ」と連携し，スタートアップ・中小企業の新技術や新サービスの実証実験・社会実装の取組みを推進。

オープンイノベーションチャレンジ2019（4つのテーマを募集）
橋梁の劣化状況の確認（橋梁劣化状況の効率的な点検の実現）/衛生監視における施設立入調査の効率化（巡回ルートの効率化）
下水道工事における地下埋設物破損の防止対策/水路蓋の劣化状況の把握

８．スタートアップ調達　（トライアル発注制度など）

公民共働事業

LINE㈱，LINE Fukuoka㈱との包括連携協定

LINEグループと包括連携協定を締結し，AIやFintechなどの先端技術を活用し，より豊かで便利な未来志向のまちづくりに向け共働して取り組んでいます。
（平成30年8月23日締結）

アンカー・ジャパン㈱との災害時における物資供給に関する協定

アンカー・ジャパン㈱との間で，災害時におけるポータブル電源等の物資供給に関する協定を締結し，避難所における緊急的な電源確保や携帯端末の充電が可能になるなど，災害初期の応急対応の充実を図ります。
（平成30年11月29日締結）

傘のシェアリングサービス アイカサへの支援

㈱Nature Innovation Groupが提供する傘のシェアリングサービス「アイカサ」は，街の回遊性向上，来訪者の利便性向上，ビニール傘のごみ減量といった公益性につながる取り組みであることから，市の公共施設にもアイカサスポット（傘立て）の設置を行っています。

実証実験フルサポート事業

キャッシュレス

動植物園，博物館，駐輪場などの公共施設の他，屋台，タクシーなど民間施設でのスマートフォン決済等のキャッシュレスサービス活用による利便性の向上，業務効率化等を検証しました。

シェア型電動キックボード

シェアリング型の電動キックボードの公道走行を目指して，安全性の確認や車体や路面のマッチング，利用ニーズ等を検証していきます。

国家戦略特別区域会議へ提案（H31.2.4）時の様子

AIを活用したケアプラン作成

専門知識を補完したAIによりケアプラン作成を補助することで，ケアプランの推薦精度やケアマネジャーの満足度の向上に繋がるかを検証しました。

AIを活用した引っ越し・証明案内サービス

引っ越しの際の行政手続きや住民票などの証明の取得方法を，AIチャットボットを活用して回答することで，市民サービスの向上，行政事務の効率化に繋がるかを検証しています。

１．地域で活動するVC、アクセラレーターの取組

各ステージを多様なVC、アクセラレーター等が支援

F Ventures　FGN ABBALab

QB Capital

GXPartners　Startup Go!Go!

DOGAN β

FFG ベンチャービジネスパートナーズ　JAFCO　Digital Garage

Deloitte. デロイトトーマツ

証券会員制法人
福岡証券取引所
（九州IPO挑戦隊）

プレシード ＞ シード ＞ アーリー ＞ ミドル ＞ レイター ＞ IPO

F Ventures
代表　両角　将太

2016年、サムライインキュベートを卒業し、福岡を拠点としたベンチャーキャピタルF Venturesを設立。スタートアップイベントTORYUMONを半年毎に全国5都市で主催し、参加者500名ほどのイベントに成長。J-Startup推薦委員。

QBキャピタル
代表パートナー　坂本　剛

大企業・中小企業・ベンチャー企業を経験し、2015年九州地域の大学発ベンチャーを支援する「QBファンド」を約３１億円で組成。。また福岡地域における大学発・地域発ベンチャー支援ネットワークを運営。J-Startup推薦委員。

ドーガン・ベータ
代表取締役パートナー　林 龍平

住友銀行・シティバンクを経て、ドーガンに2005年より参画。 3本総額31億円のベンチャーファンド立ち上げを行い、これまでに約40件の投資を行った。J-Startup推薦委員。

１．地域で活動するVC、アクセラレーターの取組

福岡で活躍するアクセラレーター達

＜ Startup GoGo ＞

台湾･韓国･米国･シンガポール等からもStartupが参加する，**九州最大のグローバルスタートアップイベントを実施**。西日本鉄道や凸版印刷等とのオープンイノベーションプログラムの運営、大企業とStartupとの協業の支援、独自アクセラレーションプログラム「UpDraft」における第一線の先輩起業家、ベンチャーキャピタリスト等を招聘したメンタリング、台湾･韓国のStartupの日本進出プログラムの運営など，**「世界に通用するStartup支援プログラム」を提供**。

＜ Digital Garage ＞ Open Network Lab FUKUOKA

デジタルガレージ のグローバルなネットワークを活用し、スタートアップ、メンターなどを国内外から広く福岡へ呼び込み、福岡の財産である有力企業の知見や資源、福岡の文化、学術的ポテンシャル、県外協賛企業も交えたn対n オープンイノベーションを通じて、福岡から世界へ発信する事業を創出する。企業側にスタートアップとの共創メリットを提供し、**スタートアップとの共創文化を福岡に定着させることを目指す。**また、スタートアップに対して出資や、ハンズオンのビジネスディベロップ支援など、広くサポートを実施している。

＜ F Ventures ＞ TORYUMON

福岡発日本最大の学生スタートアップコミュニティ。学生を対象としたスタートアップイベントを開催，九州の学生起業家が必ず通る道となるようなイベント。この活動を活かした地方の学生起業のエコシステムを構築中。創業期に特化したベンチャーファンドを有し，福岡を中心に投資もおこなうとともに，**日本国内のベンチャー投資家のネットワークを通じて福岡への資金供給の橋渡し**もおこなっている。

2．スタートアップを支援する地域の大企業･中堅企業の取組

スタートアップと協業する地域の大企業･中堅企業の主な取組み

TOPPAN

＜凸版印刷＞co-necto

co-necto は、「スタートアップ」と「トッパン」の共創を通じて、イノベーティブな事業･サービスを世に送り出すためのオープンイノベーションプログラム。

FFG ふくおかフィナンシャルグループ

＜ふくおかフィナンシャルグループ＞

X-Tech Innovation

各業界･業種を横断する、デジタルテクノロジーを活用した新しいサービスを広く募集するビジネスコンテスト。

X-Tech Match up

地場企業と全国のスタートアップ企業とのマッチングの場を提供

九電グループ

ずっと先まで、明るくしたい。

＜九州電力＞KYUDEN i-PROJECT

グループ横断のアイデア創出や他企業との戦略的パートナーシップの構築を通じて、イノベーションを起点に「未来の事業」を創出する取組み。

Nishitetsu

CO-LAB

＜西鉄電車＞西鉄Co+Lab

ベンチャー企業をはじめとした外部の皆さまの優れたアイデア･技術と西鉄グループの経営資源を組み合わせ、新たなビジネスの創出やサービスの革新を目指すプログラム

MIT REAP FUKUOKA CITY

＜地域の大企業･中堅企業と福岡市の合同プロジェクト＞

大学，企業，リスクキャピタル，スタートアップ，行政がチームを組み，**MIT（マサチューセッツ工科大学）の知見を活かして福岡市のスタートアップエコシステムをさらに強化する施策**を実施。

- 福岡チーム -
福岡市，福岡地域戦略推進協議会，九州大学，九州電力，西日本鉄道，福岡地所，ヌーラボ，福岡銀行

３．エコシステムにおけるキーパーソン・インフルエンサーの取組

福岡で活躍するキーパーソン・インフルエンサー

Mistletoe ファウンダー
孫　泰蔵氏

日本の連続起業家，ベンチャー投資家。スタートアップアクセラレーターMOVIDA JAPANを創業。また未来に直面する世界の大きな課題を解決するためにMistletoeを設立。その課題解決に寄与するスタートアップを育てることをミッションとする。

株式会社ABBALab 代表取締役
小笠原　治氏

日本最大のホスティングサービス会社、さくらインターネット㈱を田中邦裕氏（現代表取締役社長）と創業。シード投資とシェアオフィス運営を軸にスタートアップ支援を行う㈱nomadを設立。その後，㈱ABBALabを設立。「Fukuoka Growth Next」の設立にも携わる。

＜ 福岡スタートアップサポーターズ協議会 ＞

平成24年に福岡市と小笠原治氏，孫泰蔵氏の三者で発足。新しい知見により**福岡におけるスタートアップ支援を常にリードし続ける。**

- これまでの主な取り組み -
- 大学の研究テーマや企業が保有する高度な技術を可視化
- 起業家たちの実体験などを直接聞く機会や、先輩起業家によるメンタリング機会の提供
- ベンチャーキャピタルとのマッチングイベントの実施　等々

福岡における未来の起業家育成に向け，VIVITAの知見などを活かし，**U-18の起業家教育・プログラミング教育**に取り組む他，福岡のスタートアップの成長，**IPOを目指す専門人材（CxO人材）育成**等，新たな取り組みに挑戦する。

明星和楽実行委員長
松口　健司氏

㈱サイノウ
村上 純志氏

ブランコ㈱
山田 泰弘氏

㈱ヌーラボ
橋本 正徳氏

＜ スタートアップコミュニティとしての「明星和楽」 ＞

H24　スタートアップ都市宣言

福岡市がスタートアップ支援の旗印に「スタートアップ都市ふくおか」を宣言した福岡市の起業家やエンジニア等によるコミュニティイベント「明星和楽」。**「明星和楽」はスタートアップのコミュニティとして，プレイヤーとして，支援者として常に福岡のスタートアップをけん引**している。

「明星和楽」とは　- 「異種交創」を体現する -
重要なのは未来を予測することではなく、予測できない未来の変化に対応していく力。
多様な価値観・　バックグラウンドを持つ人々とリアルなコミュニケーションを図り、感覚を揺さぶり続ける明星和楽は、年齢やポジションに関係なく「異種」な人々が「交」わる場として機能し、新しいモノ・コトを「創」り出し続ける。ここから生み出されたモノ・コトが、アジア、ひいては世界を席巻するムーブメントになることを目指して活動。

１．地域における大学のスタートアップ創出･支援の取組

九州大学を中心としたスタートアップ創出･支援

九大ギャップファンドで大学発ベンチャーを7社創出!!

事業シーズの申請 → 採択 → プロダクト試作 → 顧客の初期評価・検証 → 実施結果の報告

助成期間(7ケ月程度)　終了後1ヶ月以内

UP!

KAICO　megwel　サイエンス･グルーヴ　SAFE APPROCH MEDICAL　タベテク　DeepFlow　Palmens

投資マネーで大学発ベンチャーを積極支援!!
九大発ベンチャーへの投資ランキング全国3位!!

出所：entrepedia(2018年)

UP!

ベンチャーキャピタルから資金調達

QB Capital　FFG　Beyond Next Ventures　SMBCベンチャーキャピタル　みずほキャピタル　NISSAY CAPITAL CO.,LTD.　三菱UFJキャピタル株式会社

創出支援　資金支援

エコシステム支援　拠点支援

入居施設

CYFUSE　EATH EditForce　Kyulux　acceleus

地域の支援エコシステムで成長支援!!
（九州･大学発ベンチャー振興会議の取組み）

UP!

大学11

- 大学の経営改革
- 大学における発明･アイデアの組織的な発掘とベンチャーキャピタルへの情報提供
- ベンチャーに対する設備･知財の柔軟な対応
- 起業家教育の推進 等

【九州･大学発ベンチャー振興会議】

事例共有　事業支援　資金援助

地場企業13社

- 大学に対する助言･支援（産学連携･起業家教育等）
- ベンチャーキャピタルに対する助言･支援（事業評価･経営人材･販路開拓等）

地方銀行&VC11社

- 大学におけるアイデア･発明の市場化
- 個別投資の実行
- ビジネスプランの作成（経営人材･マーケティング･資金･知財戦略等）
- 法人の設立･運営、株式公開の支援

福岡を本社とする大学発ベンチャーを成長支援!!
福岡市産学連携交流センターFiasを入居施設として活用

Kyulux　KAICO

UP!

絶え間ない大学発ベンチャーの創出･成功が地域、社会、そして大学を変革する

知と資金の好循環を目指す!!

１．地域における大学のスタートアップ創出･支援の取組

大学発スタートアップ創出･支援

人をつくり、時代を拓く。
福岡大學

スタートアップ創出に向けた産学官連携センターの取組

① 研究シーズの発掘とその紹介
② ホームページでの情報提供
③ 技術交流会、経営人材育成支援、各種セミナーの開催
④ 産学官・産産連携のネットワーク
⑤ 技術・経営相談

★福岡大学産学連携協議会
（本学出身の企業経営者と本学の会）
☆コラボレーションネットワーク
（本学の産学連携の情報発信ネットワーク）

福岡大学の研究シーズの事例
（高齢化、環境、半導体など）

- 健康･予防医療バイオ
- 半導体･自動車ナノ
- 環　境
- 経営ベンチャー提案
- 安全･安心な社会

Shape your world
APU
Ritsumeikan
Asia Pacific University

スタートアップ創出に向けた「APU起業部」の取組

■起業部とは
2018年7月に出口学長直轄のプロジェクトとして発足
12カ国･地域出身の32組46名が一期生として所属
2期生は、11カ国･地域出身の30組43名

■第1期の成果
起業部を経て起業した学生は4組。具体的なビジネスプラン立てている学生が4組。

- LEGAME（サダト･ナスムズ　バングラデシュ出身）-
バングラデシュで大量に廃棄され、環境汚染の原因となっている牛の革に着目。それを使った革製品を生産し、女性の社会進出、環境汚染の改善を促し、1商品販売ごとに本を現地に送ることで、識字率の向上に貢献するビジネスプラン。APU学内やECサイトで商品の販売を開始（2018年11月）

■ その他
･外国人卒業生　31件日本国内起業
･日本人卒業生　92件起業
計　123件起業（APU 把握分）

２．地域の大学における起業家教育の取組

EDGE-NEXTによるアントレプレナーシップ教育を推進

IDEA
Innovation × Diversity × Entrepreneurship Education Alliance

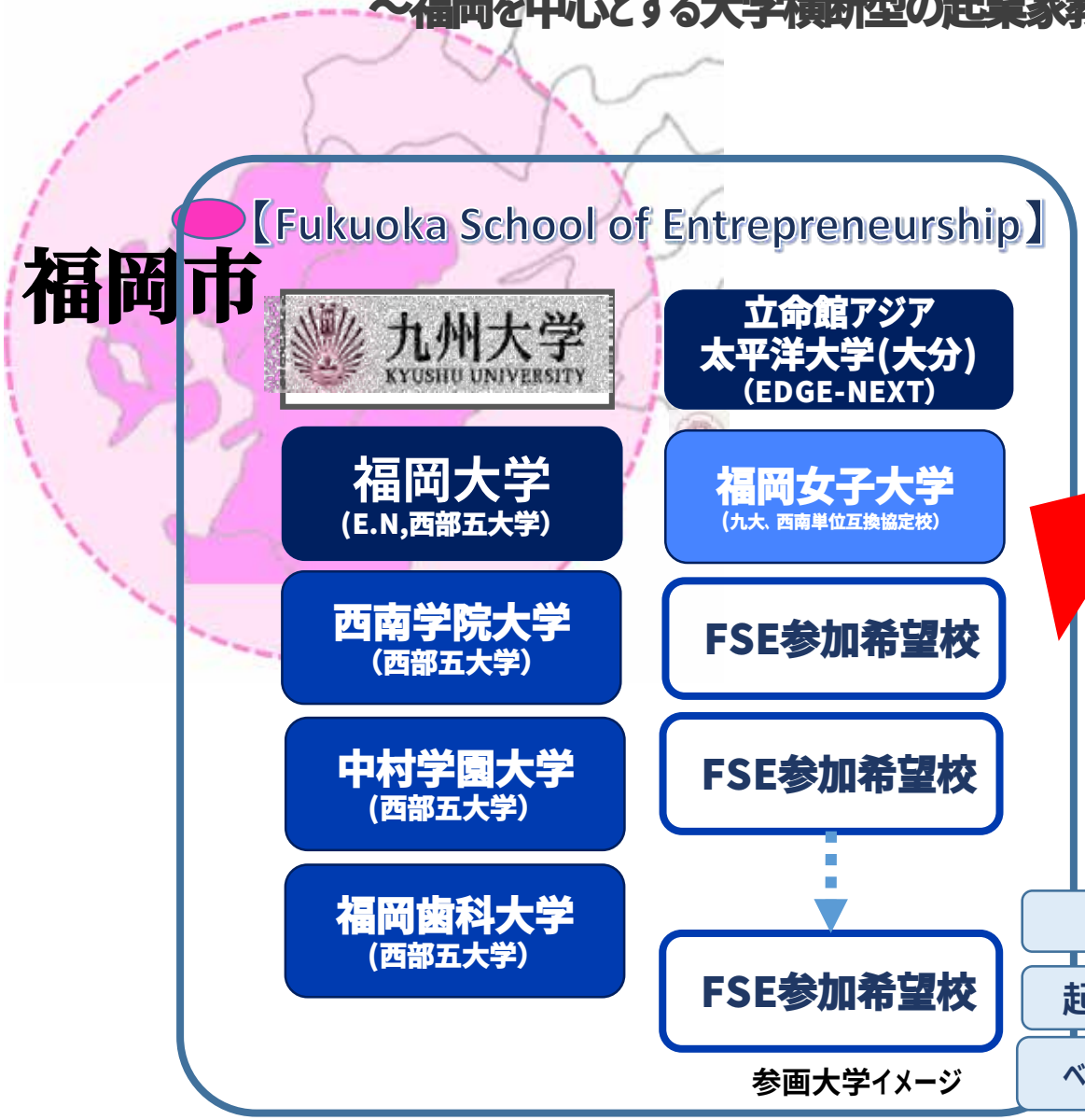
九州においては，**九州大学**，**福岡大学**，**立命館アジア太平洋大学**が文部科学省事業「**EDGE-NEXT**」に**採択**されており，アントレプレナーシップ教育を実施。

大学等の研究開発成果を基にした起業や新事業創出に挑戦する人材の育成，関係者･関係機関によるベンチャー･エコシステムの構築を目的に，学部学生や専門性を持った大学院生、若手研究者を中心とした受講者に対するアイディアの創出やビジネスモデルの構築を中心としたプログラムを実施。

2.地域の大学における起業家教育の取組

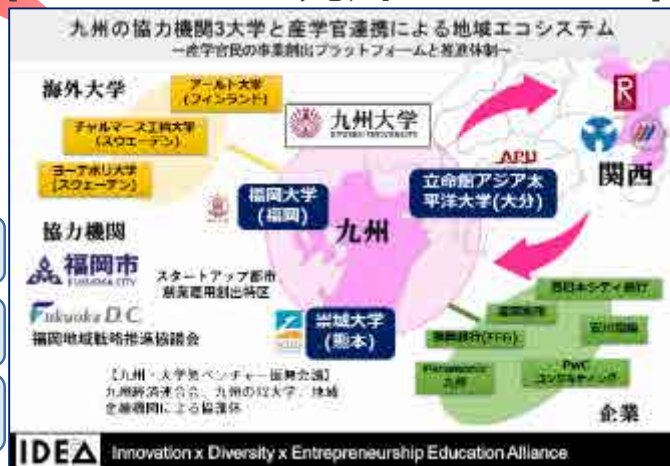
Fukuoka School of Entrepreneurship(FSE)構想

～福岡を中心とする大学横断型の起業家教育共通プラットフォームの構築～



- EDGE-NEXTの九州コンソーシアムを北部九州で拡大・強化を行う。
- より多くの大学・高専等教育機関の参加を可能とする。
- スタートでは実績ある「西部五大学連携協定」等の教育基盤を活用し実効性を上げる。
- 各大学が教育リソースを持ち寄ることで運営基盤の安定を目指す
- Fukuoka Growth Nextで開講することで学生ばかりではなく起業家、起業家予備軍を呼び込む。
- EDGE-NEXTの求める「起業家精神の醸成」から「社会実装」までを意識したプログラム開発
・スウェーデンのモデルをアレンジ

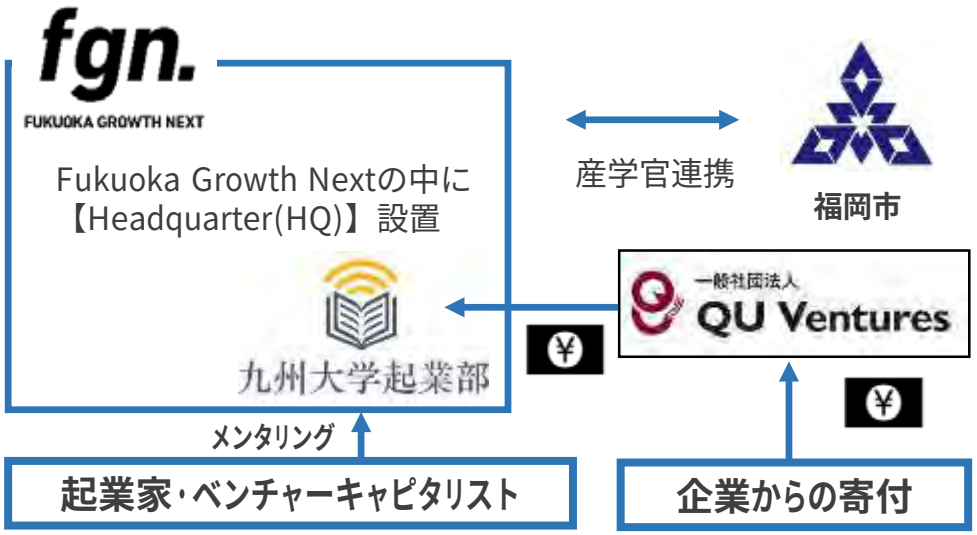
【EDGE-NEXT九州コンソーシアム】



３．大学と地方自治体、民間のスタートアップ創出・支援に関する連携

九州大学起業部と連携し，スタートアップ創出を推進

■学生スタートアップの創出に向けて「九州大学起業部」を設立。サッカー部がサッカーをするがごとく、起業部は学生起業します。
■九大教員が顧問として指導にあたるほか、国内外の一流の起業家やベンチャーキャピタリストをネットワークし、起業支援を実施。
■10年で50社の学生スタートアップを創出。うち５社の上場企業創出を目指す。



九州大学起業部　顧問　熊野 正樹氏

九州大学の研究成果で学生が起業を目指しています！

- AIによる病理画像診断ソフト開発
- ワクチンシールの開発
- 海底の３Dマップ作成
- 歩き方で人を認証するシステム開発
- 海難事故防止システムの開発
- ナノテクで日本酒の劣化防止フィルター開発
- ワイヤレス給電システムの開発
- オンライン薬局事業

NEDO TCP：全国26件採択中、5件が九大起業部（2019年度）
（NEDOとの起業家支援に関する覚書締結や文科省EDGE-NEXT採択）

九州大学起業部として「第２回 日本オープンイノベーション大賞」文部科学大臣賞 受賞！

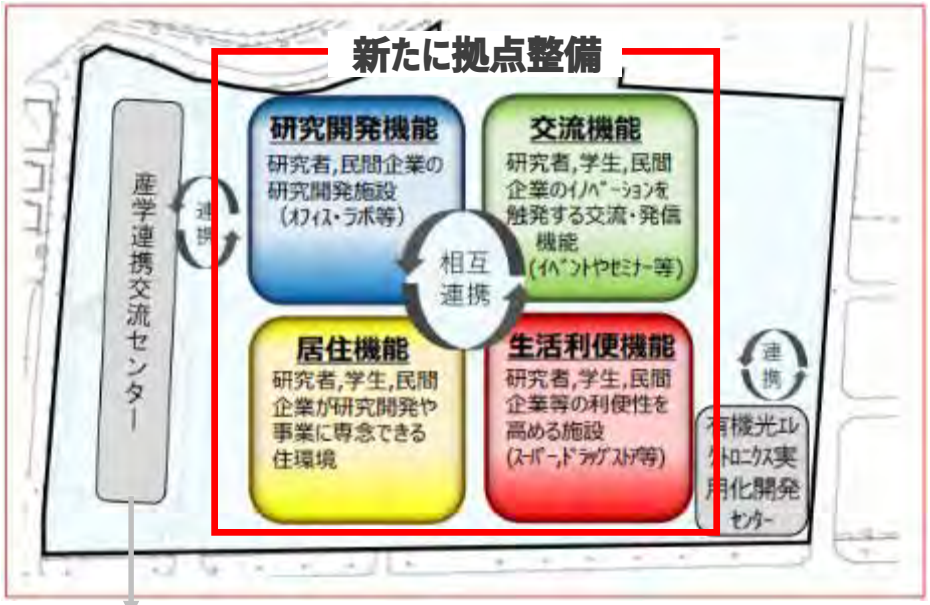
３．大学と地方自治体、民間のスタートアップ創出･支援に関する連携

大学と研究開発型スタートアップ創出で連携

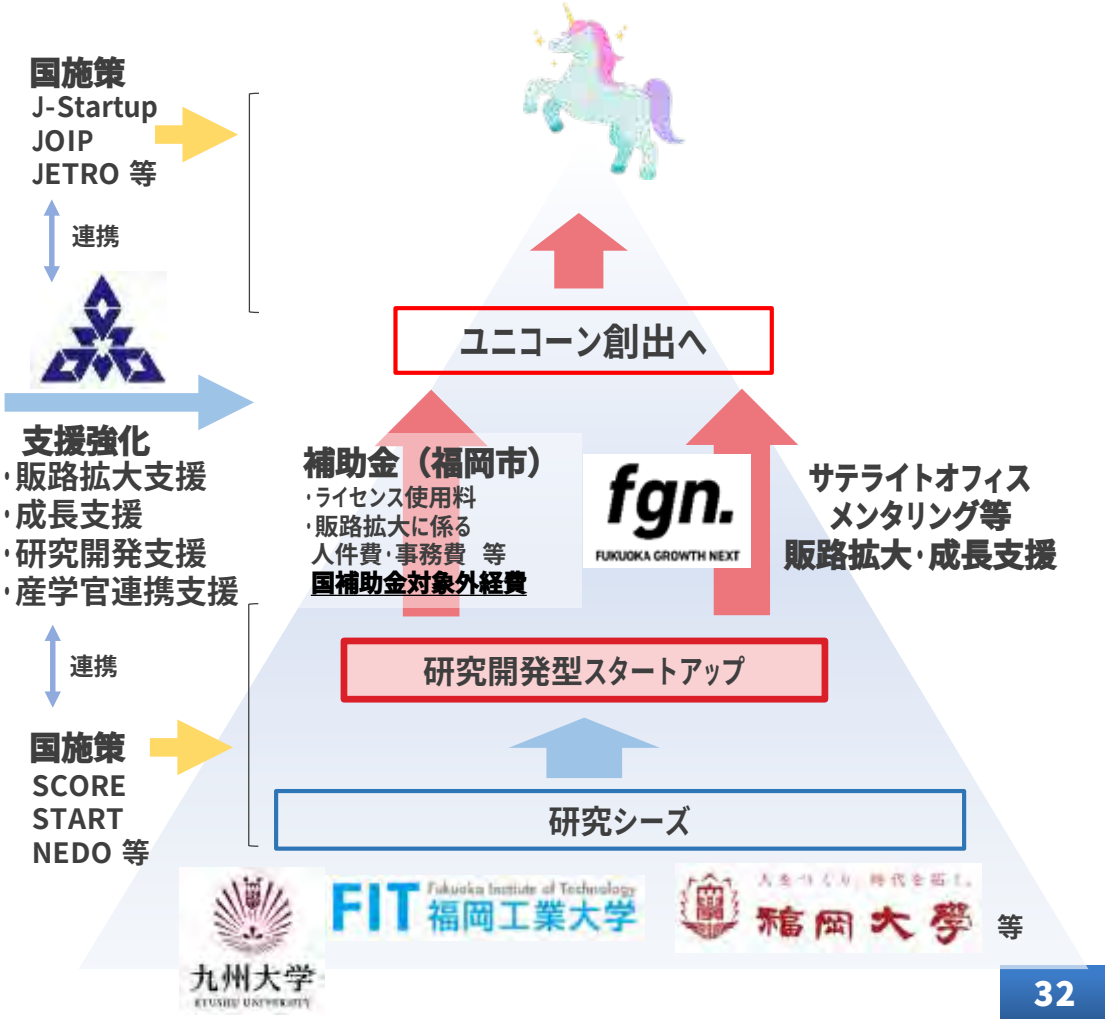
＜ 研究開発次世代拠点整備 ＞

～ 研究開発 × 交流 × 生活利便 × 居住 ～

九州大学に隣接する元岡地区に研究者や学生，民間企業（研究開発型企業，スタートアップ企業）が集積･交流する職住近接の環境を形成し，**新産業･新事業が次々に生まれる研究開発拠点の展開を目指す**。



福岡市産学連携交流センター（FiaS）

新しい産業･事業の創出，地場企業の活性化，企業･研究機関等の立地促進を図る。地域経済の発展及び九州大学学術研究都市づくりを目指す。

福岡市独自の ＜ 研究開発型スタートアップ支援 ＞